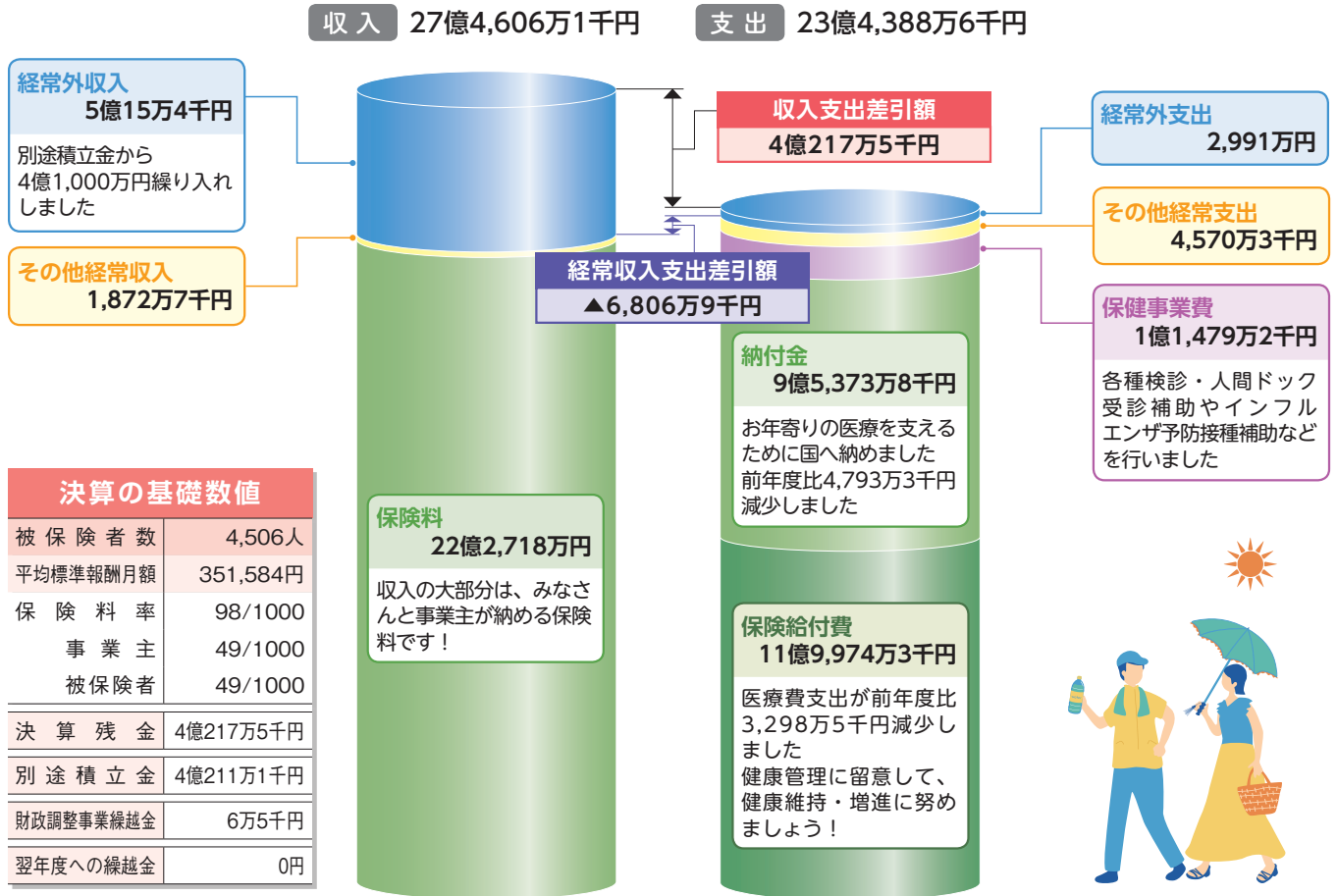


令和5年度 決算のあらまし



先の組合会において、当健康保険組合の令和5年度決算が承認されました。
その概要をお知らせします。

健康保険

経常収支差引額 ▲6,806万9千円

収入では、被保険者数がやや増加したこと、給与体系の変更により平均標準報酬月額が増加が年間総標準賞与額の減少幅を上回ったことから、保険料収入は前年度比4,977万9千円増加しました。

支出では、新型コロナウイルス感染症に係る医療費が落ち着いたことにより、保険給付費は前年度比3,298万5千円の減少。高齢者医療にかかる拠出金等においても、

前期高齢者納付金の精算戻りにより4,793万3千円の減少となりました。

組合財政の健全性を示す経常収支差引額は6,806万9千円の赤字となりましたが、別途積立金からの繰り入れ等により、収入支出差引残高は4億217万5千円となりました。

介護保険

収支差引額 2,005万8千円

前年度に引き続き、介護保険料率を据え置いた結果、介護保険収入は2億1,477万1千円となりました。

一方、支出である介護納付金は2億171万3千円となりま

したが、介護準備金からの繰り入れもあり、収入支出差引残高は2,005万8千円の黒字決算となりました。

◀◀ 健保組合を取り巻く状況 ▶▶

健康保険組合連合会が発表した「令和6年度健康保険組合予算編成状況―早期集計結果(概要)について―」によると、保険料などの経常収入は、前年度比4.5%増の9兆53億円に対し、医療費などの経常支出は、5.3%増の9兆6,631億円となり、健保組合全体で経常収支差引額は▲6,578億円の赤字となる見通しです。2年連続の大幅な赤字により、赤字組合数は前年度から103組合増となり、約9割になる予測です。

収入では、保険料収入は前年度比4.5%増の8兆8,851億円が見込まれます。一方、支出では、保険給付費は6.2%増の5兆756億円と例年に比べ高めの見込みとなっています。また、高齢者拠出金は、4.6%増の3兆8,774億円と

なりました。前期高齢者納付金は、5.7%増の1兆6,003億円、後期高齢者支援金は3.8%増の2兆2,769億円と、それぞれ大きく増加しています。

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり始め、高齢者拠出金は今後も増え続けるため、健保財政はますます厳しい状況となる見通しです。さらに、支え手となる現役世代は減少していくことから、現在の制度の維持は極めて困難な状況になります。

現役世代の負担を軽減し、能力に応じて全世代で医療費を公平に支え合う、全世代型社会保障の構築に向けた改革は急務です。

介護保険の収支

決算の基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	2,114人
平均標準報酬月額	372,455円
保険料率	18/1000
事業主	9/1000
被保険者	9/1000
決算残金	2,005万8千円

収入

科目	金額
介護保険収入	2億1,477万1千円
繰入金	700万円
収入合計	2億2,177万1千円
準備金への積立	2,005万8千円

支出

科目	金額
介護納付金	2億171万3千円
支出合計	2億171万3千円
翌年度への繰越金	0円

令和5年度に実施した主な保健事業

保健指導とPR

- ◆機関紙「健保だより」…ホームページ、AIFジャーナルに掲載 [4・8月]
- ◆小冊子「社会保険の知識」…新規入職者に配布 [4月]
- ◆育児月刊誌「赤ちゃん！」…出産された被保険者（配偶者分娩を含む）に配布。対象者139名

- ◆医療費通知…該当する被保険者・被扶養者に通知 [2月]
- ◆健康ポータルサイト「Pep Up」…ウォーキングラリー、体重測定チャレンジ等健康増進イベントを実施。健康年齢を通知、ジェネリック医薬品差額通知等を対象者に通知

病気の予防

- ◆特定保健指導…40歳以上の被保険者・被扶養者のうち、生活習慣病の発症リスクを持つ人に保健指導（積極的支援・動機づけ支援）を実施。受診者延べ347名
- ◆人間ドック…健診費用を一部補助。満35歳以上の被保険者・被扶養者対象、受診者2,261名
- ◆脳ドック…健診費用を一部補助。満40歳以上の被保険者・被扶養者対象、受診者3名

- ◆口腔内ケアセット…「歯と口の衛生週間」に併せて全被保険者に配布 [6月]
- ◆ファミリー歯科健診…健診費用を全額負担、他の健保組合と共同で実施。[8～9月・1～3月]
- ◆インフルエンザ予防対策…予防接種費用を補助。全被保険者を対象に実施 [11月]

体育奨励

- ◆プール利用斡旋…指定施設での利用者に斡旋。利用者85名

- ◆関西サイクルスポーツセンター…利用者の補助。利用者数61名